



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Vol. 60

No. 13

第2826例会

2022年1月18日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

東京江東ロータリークラブ

2020～2021年度 テーマ

Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
RI会長 ジュカール・メー 地区ガバナー 若林英博

誓願成就

～願いはかなえよう～
クラブ会長 小嶋映治

今日の卓話

次回例会案内

クラブ協議会
新年会（夜間例会）

ガバナー補佐訪問

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp

http://www.koto-rotary.jp

例会報告

12/14 訂正出席率 95.24%
1/11 会員数 21名中 18名
出席率 85.71%
ゲスト 次年度副代表幹事 小林康徳様



会長・幹事報告



- ・新年のご挨拶
- ・本日 11 時より 1 月度定例理事会および被選理理事会が開催されました。
- ・1 月分米山奨学金 贈呈
- ・1 月度定例理事会報告・被選理理事会報告
- ・1 月のロータリー為替レートは 1 ドル@115 円になります。
- ・来週は新年会で夜間例会となります。

<委員会報告・その他>

大澤栄一親睦委員長：年末家族会報告

小野会報委員長：江東 RC ホームページおよび 60 周年記念誌掲載用に「自己 PR およびロータリーへの思い」提出のお願い

☆今週のワンポイントレッスン (No.13)

●職業奉仕 ②

職業上の倫理を高める指針として、「ロータリアンの行動規範」は「四つのテスト」と並び、すべてのロータリアンの倫理的行動の枠組みとなるものです。

「ロータリアンの行動規範」

- ① 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- ② 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- ③ 自分の職業スキルを活かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- ④ ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- ⑤ ロータリーの会合、行事および活動において、ハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントの報告をした人への報復が起こらないように確認する。

ロータリーという職業による奉仕とは、自分の仕事を一生懸命行うことです。これは、国際ロータリーの使命である「他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職および地域社会のリーダー間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する・・・」事を実践する方法です。

ニコニコボックス



小林康徳次年度副代表幹事、大澤栄一ガバナー補佐エレクト：次年度ガバナー補佐の大澤栄一と、次年度副代表幹事の小林康徳です。2人で江東クラブを担当させていただきますので、よろしくお願ひします。

小嶋会長：新年あけましておめでとうございます。60周年に向けてそろそろスタートいたします。皆様ご協力の程宜しくお願ひ致します。

板倉幹事：新年あけましておめでとうございます。大澤栄一さん、卓話よろしくお願ひします。

平手副会長：あけましておめでとうございます。本日も宜しくお願ひします。

小野会長エレクト：向島ロータリークラブ小林地区副代表幹事、ようこそ。大澤栄一さん本日の卓話よろしくお願ひいたします。

末次君：本日も宜しくお願ひ致します。

伊藤（三）君：皆様明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

鈴木君：新年明けましておめでとうございます。

大澤（秀）君：今年も宜しくお願ひ致します。

大島君：明けましておめでとうございます。大澤栄一さん、卓話よろしくお願ひします。

益子君：本年も宜しくお願ひ申し上げます。

大木君：今年もよろしくお願ひします。

堀君：今日もよろしくお願ひします。

伊藤（海）君：本年も1年間よろしくお願ひします。

熊川君：本年も宜しくお願ひ致します。

合計 78,000 円
累計 817,000 円

【配布物】ロータリーの友 1月号

【回覧物】たよりウィズ、各施設からの年賀状、バギオ基金のご案内

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分～13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



専任しよう みんなの人生を豊かにするために



月間に因んで「職業奉仕について」



大澤栄一職業奉仕委員長

本日は、職業奉仕月間ということで、職業奉仕に関する話をさせていただきます。

「職業奉仕」ということ、一体どういう意味か？と頭を悩ませることも多いかと思えます。私自身、職業奉仕とはこういうことである！と説明することは出来ません。

そこで、当地区で2017年に行われた、深川純一先生の基調講演の内容を抜粋して紹介致します。

「先ず、職業奉仕を理解するために、どうしても心に留めておいていただきたいことがあります。それは一体何か。それは、ロータリーが倫理運動である、と謂うことでもあります。

では、倫理運動とは一体どういうことなのか。

それは、世の中に倫理を提唱していくこと、人間は本来如何にあるべきか、という倫理を守る人間、道徳を守る人間を作ることによって世の中を明るくして行こうという運動であります。

では、それは具体的に謂えば、一体どういうことなのか。

実は、ロータリークラブは、寄付団体ではありません。また、慈善団体でもボランティア団体でもありません。ロータリアンに奉仕の心を授け、倫理を提唱していく団体、即ちロータリアンの心の開発を第一義とする団体であります。ここは大事なところ。

では、そのことを具体的に謂えば、一体どういったことになるのか。

例えば、仮に、街角に紙屑が落ちていたとします。ロータリアンとしては、町を美しくするために、その紙屑を拾うだろうと思えます。

では、紙屑を拾うことがロータリアンの本来あるべき姿なのか、と云うと、そうではありません。ロータリーは、紙屑を拾うところにロータリーの本願はないよ、と謂います。

では、一体どこにロータリーの本願があるのか。

ロータリーは、そもそも紙屑を捨てない人を育てるところに本願がある、と謂うのであります。人を育てること、道徳を守る人間を作ること、そのことによって世のため人のために動いて行こう、とロータリーは謂うのであります。見方を

変えれば、それがロータリーが倫理運動である、と謂うことを意味するのであります。」

「この話は、一体何を意味するのか、と申しますと、聞いては忘れ、聞いては忘れながら、水で洗われる筈の中の羊の毛のように、自分自身が磨かれていく、心が磨かれていく、ということの意味しているのであります。

したがって、私達は、忘れることを怖れてはなりません。出来るだけ沢山の人の話を聞き、沢山の本を読み、そして、聞いては忘れ、読んでは忘れてしまうものですが、しかし、何回も何回も、聞き忘れ、読み忘れながら、次第々々に心が磨かれてロータリーが身に付いていく、奉仕の心が身に付いていくのであります。これが知恵というものであります。単なる知識ではありません。

それだからこそロータリーは、「毎週の例会には出て来いよ。」というのであります言仮に、ロータリーが寄付団体であれば、何も毎週例会に出る必要はありません。寄付団体であれば、例会は月に1回でもよろしい。2ヶ月に1回でもよろしい。極端なことを言えば、例会に出席しなくても寄付さえしておればよいのであります。

しかし、ロータリーは寄付団体ではありません。倫理団体なのであります。したがって、クリスチャンが毎週日曜日に教会に行っ



て、神に祈り、心を洗うのと同じように、ロータリアンも必ず毎週一回の例会には

出席して、お互いに心を磨き合うのであります。これがロータリーの真髓にある考え方であります。それは何故か、と言いますと、ロータリー運動が倫理運動だからであります。世のため人のために倫理を提唱していくためには、先ず、ロータリアン自身の心を磨かなければ、ロータリアン自身の倫理を高めなければ、世の中に倫理を提唱することはできません。したがって、ロータリーは、毎週の例会には必ず出席しなさいよ、というのであります。これが自己研鑽であります。

そして、ロータリアンは、毎週の例会に出席して、ロータリアン同士お互いに心を磨き合って奉仕の心を授かるのであります。これが切磋琢磨であります。」

まさに毎回の例会が職業奉仕、そしてロータリーの根幹であると思えます。

毎回の例会で先輩方、また、仲間の話を聞きながら、お互いに切磋琢磨してロータリアンとして成長していきましょう。